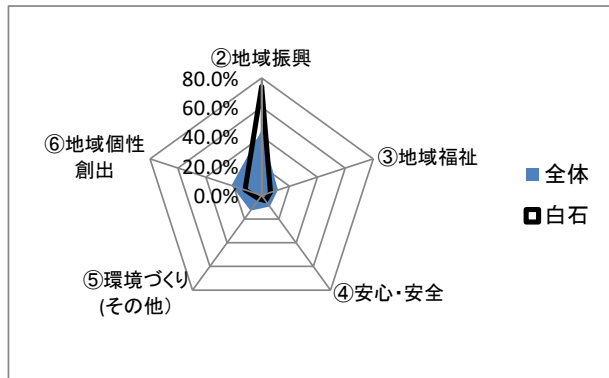


白石地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和6年度)

■地域の情報

地域人口	10,439人	自治会数	40
世帯数	4,866世帯	自治会加入率	79.9%

※数値は、令和7年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	8,748,000 円
交付金決算額	8,627,493 円
その他収入	82,455 円
交付金決算額／配分額	98.6%

各分野の決算

①協議会運営	5,668,128 円
②地域振興	2,254,973 円
③地域福祉	192,851 円
④安心・安全	136,576 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	95,450 円
⑥地域個性創出	361,970 円
決算総額	8,709,948 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

■総括

今年度は、交付金の活用によって、専門部会、実行委員会等を中心とした地域課題の解決に向けた取組みが進んだ。
 今後については第4次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(C)、改善する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長及び事務員人件費、事務費
② 地域振興	地域づくり活動参加促進、広報事業、第4次地域づくり計画策定、小中学校交流イベント「逃走中」、「やまぐちえき」応援イベント、白石フェスティバル開催支援、白石地区親睦大運動会開催支援、町内会親睦活動支援、ふるさとまつり参加促進事業
③ 地域福祉	チャレンジ健康づくり、健康食のおススメ、グラウンドゴルフ参加促進、むかし遊び
④ 安心・安全	危険防止看板設置等、反射鏡設置等事業、自主防災活動参加促進、夏休み防災訓練キャンプ実施、安全パトロール事業
⑤ 環境づくり	環境美化・保全活動推進
⑥ 地域個性創出	白石歴史探訪の会

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	地域づくり活動参加促進	決算額	338,060円
	目的	地域課題解決のための方向性を会員団体が共有する環境づくりと地域づくり活動に参加する地縁者、とりわけ現役世代の参加促進を図る。		
	実施内容	専門部会や実行委員会を開催し、地区住民同士の話し合いの機会を設け、地域づくりに関わる地区住民の増加を図った。		
	実施時期	通年		
	参加人数	136人		
	成果	今年度における専門部会の出席率が81%となり、昨年の84%と比較して3%減少した。また、参加人数が136名となり、昨年と比較して21名(18%)増加した。		
	評価	理事等役員と白石小中PTA等子育て世代(現役世代)が交流する機会を増やすことで、より幅広い協力体制が構築できた。		
	今後に向けて	今後も地域づくり活動への参加意識の喚起・触発等啓発活動を推進し、地域づくりに関わる地域住民の増加を図っていく。更に、商店街、市民活動団体等との連携を強化しつつ、子育て世代等現役世代や10代の参加を促進しながら、地域活動を進める。		
②	事業名	「やまぐちえき」応援イベント	決算額	188,834円
	目的	地域住民同士やSL乗客等他地域住民との交流促進を図る。		
	実施内容	山口駅においてSL・DLおもてなしイベント活動、JR山口駅ロータリーの環境美化活動、写真展「ご当地自慢スポット in 山口」、山口駅周辺において観光ボランティア「てくてくウォーキング」を実施した。		
	実施時期	令和6年5月、6月、8月、10月、11月、12月		
	参加人数	16人		
	成果	2年振りのSLやまぐち号・DLやまぐち号・クリスマス号のおもてなしイベント、ご当地写真展、観光ボランティア「てくてくウォーキング」等を開催し、利用者や近隣住民の皆さんへ白石地域の魅力を発信した。実行委員や支援者の地域活動における協力体制への意識が高くなり、自発的に行動できるようになった。		
	評価	JR山口駅待合室での『ご当地写真展』では、駅利用者等の皆さんへ「ちょうちん祭り」等の伝統文化や白石地区および近隣地域の魅力を発信することができた。白石歴史探訪の会とコラボ開催である観光ボランティア「てくてくウォーキング」では、参加者との交流を深めることができた。		
	今後に向けて	今後も継続してJR山口駅のおもてなしイベントの実施、ご当地写真展の開催、駅前ロータリー清掃を実施する。また、6・10月の観光ボランティア「てくてくウォーキング」については、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施したい。		
③	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	373,722円
	目的	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域の伝統文化に触れる事により、郷土愛を育み、以って地域住民の連帯感や絆を深める。		
	実施内容	【ほたるまつり】は無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。 【祇園祭】は御神幸・御還幸のお神輿担ぎ募集・直会を開催した。 【ちょうちんまつり】は、ステージは設置せずに、ほたる広場では白石カフェのみを行った。 8月6日に白石小・中PTAを中心に、ミニちょうちんツリー点灯・願い事短冊の飾付を実施した。		
	実施時期	令和6年6月1日、7月20日・27日、8月6日・7日		
	参加人数	557人(スタッフ等協力者延人数)		
	成果	【ほたるまつり】参加者33人 【祇園祭】参加者185人 【山口七夕ちょうちんまつり】参加者339人 白石小学校・白石中学校のPTA関係者の多くの協力を得た。		
	評価	事前に会議を行い、最終確認をしたことから、事前準備、お祭り、片付けまで円滑に実施できた。		
	今後に向けて	伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間の交流を促進する。とりわけ、自治会連合会を通じて、各単位自治会から最低1名程度の参加を実現したい。		